

丹沢周辺・高取山 山行記

(L) 伊 藤

このコースは以前に私が歩いた時、地図に登山道の記載もなく、ほとんど人に会わずの一人静かな山行でした。風の会皆さんに、この雰囲気味わって欲しいという私の希望は…さて、今回の現実は何？

朝、9時前小田急線桑野駅でバスを待ちます。もう人で満ちあふれています。先のヤビツ峠行きは臨時バスが出るくらいで、我々の麓行きもいっぱいです。麓バス停から小一時間もゆっくり登ったでしょうか、浅間山(679m)に着きます。ここは大山との分岐点ですが、我々は大山を背にして、高取山を目指します。ここから登山者もぐっと少なくなります。今回の参加者は12名(男女6名ずつ)で皆さん、なだらかな道をスイスイと進みます。無線中継所をすぎ、やがて少々急な高取山の登りに入ります。高取山山頂(556m)は広く、昼食にはもってこいの場所で、長めのランチタイムをとります。下りは木の根がはった、少々急で歩きにくい登山道を慎重に下ります。それを過ぎると、又なだらかな道になり我々はスイスイと進みます。念仏山は展望も良く、箱根の山々(写真)、横浜のビル群も見渡せます。小休止の後、なだらかな道をスイスイと進み、吾妻山を経て鶴巻温泉へと下ります。

入浴するのが最後の楽しみでしたが、温泉はああ～なんと人また人。今日は1000～1200人もお客があり、だいぶ待ちます、というコメントを聞いて、入浴を断念。お蕎麦を食べて帰路に着きました。今日は大したアップダウンも無く、と言ってもまあまあロングコース。スイスイと歩け、大きな山へのトレーニングにはもってこいという事で、皆さんも満たされた一日の様でした。

さて、冒頭での私が一人静かに歩いたはずの高取山ルート現在の盛況の現実は??
時という歯車は、私の中の歯車より、かなり早く回っていたという事でしょうか？

(2017年11月19日記)

